

(新規)ファミリーサポート事業について 2021.9.6

公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金では、8/1に代表理事に就任した堀内まさみ氏のリーダーシップの下、表記の事業に取り組んでいます。

1. 背景

チャイルド・ケモ・サポート基金が設置・運営する、チャイルド・ケモ・ハウスは、19居室を備え、普段は6～7割の稼働率です。兵庫県立こども病院をはじめ周辺の高度医療機関に入院している患儿のお母さんは、朝から夜まで患儿に付き添っており、夜にハウスに帰ってきても、食料品・日用品など買い物に行く暇もなく、不便な思いをされています。特に、名古屋、鹿児島など遠方から来られているご家族にとっては、子どもさんの病気に加え、不案内な土地で、不安な毎日を過ごしておられます。

2. ファミリーサポートの内容

ハウスには約40㎡のレストランススペースがありますが、ここを有効活用し、滞在ご家族のための憩いのスペースとして大改装しました。また、レトルト食品や被服、おもちゃ、本、清掃用具なども配備し、自由に必要なものをお取りいただける環境を整えました。これらの物品は、7月頃からSNS等を通じて呼びかけを行い、全国の賛同者の皆さんから送付頂いたものです。また、支援スタッフが常駐し、いろいろな悩みの相談に乗ったり、患儿・きょうだいと一緒に遊んだり、ほっと一息がつける時間を共有しています。周辺病院に入院している患儿に外出許可が出れば、ハウスに帰ってきてご家族と一緒にいることができます。そんなときでも万一に備え、年中無休で24時間、看護師が常駐し、支援スタッフとともに滞在ご家族のケアをしています。

【支援活動の詳細】

- | | |
|------------|---|
| ① 相談支援 | 生活相談、治療に関連した悩み相談、傾聴等 |
| ② あそび支援 | 患儿及びそのきょうだいのあそび相手となることにより、元気づけやリラクゼーションの機会を提供する。 |
| ③ 生活面サポート | 滞在時の掃除・洗濯・食事・買い物等、日常の困りごとを支援する。 |
| ④ 物品提供 | 日用品・生活用品・食料・おもちゃ・絵本などの生活物資について、モノによる寄付を呼びかけるとともに、滞在家族へ支給する。 |
| ⑤ 掃除・片付け | レストランススペースの清掃・片付けを実施し、常に清潔に保ち、感染症対策にも配慮する。 |
| ⑥ 支援実施日・時間 | 週のうち4日・10時～16時までとしているが、柔軟に対応。 |



【連絡先】(公財)チャイルド・ケモ・サポート基金(神戸市中央区港島中町8-5-3)

Tel078-302-5315 / fax078-302-5325 / support@kemohouse.jp